

霧島山(新燃岳)の噴火について(第22報)

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	1月26日	18:00	注意体制	九州運輸局	1月26日	18:00	注意体制
九州地方整備局	1月26日	18:00	注意体制	気象庁本庁	1月26日	18:00	警戒体制
国土地理院	1月31日	16:00	警戒体制	福岡管区気象台	1月26日	18:00	警戒体制

2. 噴火の概要

霧島山(新燃岳)では、3月1日19時23分に爆発的噴火が観測されるなど、活発な活動が現在も継続しています。
 現在、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表しております。

<これまでの活動状況等>

新燃岳では、1月26日以降活発な活動を続けており、爆発的噴火が3月7日11時までに計13回発生しました。噴火に伴う降灰が、鹿児島県霧島市、宮崎県都城市など山の南東側を中心に広い範囲で観測されています。

現地調査によると、2月1日7時54分に発生した爆発的噴火では、大きな噴石が新燃岳火口から3kmをこえて飛散していることを確認しました。

2月15日、火山噴火予知連絡会が開催され、霧島山の新燃岳(しんもえだけ)の火山活動に関する検討結果が発表されました。(以下、検討結果の概要)

2月4日以降も、ほぼ連続的に火山灰を放出していましたが、9日頃から噴火は断続的となり、その後は、2月11日と14日に爆発的噴火が発生、噴火の頻度は低くなってきています。

引き続き爆発的噴火は続くと思われませんが、当面、1月26～27日に見られたような多量の火山灰等を放出する噴火の発生の可能性は低くなっていると考えられます。

新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりから新燃岳火口に上昇するマグマの活動は低下していますが、再び多量のマグマが新燃岳へ上昇すれば噴火活動が活発化する可能性があり、地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。

<噴火警報>

- 1月26日18:00 噴火警報発表(火口周辺警報)
 噴火警戒レベル2(火口周辺規制) → レベル3(入山規制)
- 1月31日01:35 噴火警報発表(火口周辺警報) レベル3継続
 ※対象地域の拡大、警戒範囲の拡大(入山規制2km→3km)
- 2月 1日11:20 噴火警報発表(火口周辺警報) レベル3継続
 ※対象地域の拡大、警戒範囲の拡大(入山規制3km→4km)
- 対象市町村等
 - ・鹿児島県 霧島市
 - ・宮崎県 小林市、高原町、えびの市、都城市
- 防災上の警戒事項
 - ・火口から概ね4kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要
 - ・火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要
 - ・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要
 - ・大きな空振に注意が必要
 - ・降雨時には、泥流や土石流に注意が必要。

3. 気象の見通し(九州南部地方)

7日から8日にかけて晴れる見込み。9日から13日にかけては、晴れる日もあるが気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、14日は一時雨が降る見込み。

上空およそ1500メートルの風は、7日から8日にかけて北西の風となる見込み。
 最高気温・最低気温はともに、平年並か平年より低い日が多い見込み。

4. 国土交通省の対応

(1) 大島大臣現地視察

- 大島大臣が宮崎県高原町、都城市、宮崎市において、降灰、降灰除去の状況を現地視察
宮崎県知事、都城市長、高原町長、鹿児島県知事、霧島市長と会見し被災状況等を聴取(1/29)

(2) 調査、情報共有

- 災害対策ヘリコプターを派遣し、噴火及び新燃岳周辺の降灰状況調査を定期的実施(1/21～)
- 九州地方整備局HPにおいてヘリコプターによる状況監視映像等を配信(1/21～)
- 九州地整が設置した監視カメラ等の状況監視映像を各省及び自治体等に配信(1/27～)
- 道路の降灰状況の調査と円滑な地方公共団体支援のために本省から2名の担当官を派遣
(1/31～2/1、2/9～2/11)
- 九州地整は、市町との情報共有のためのTV会議ネットワークを構築(高原町2/7、都城市2/8)
- 宅地・公園等の降灰状況の調査と円滑な地方公共団体支援のために本省から2名の担当官を派遣
(2/7～2/8)
- 観光庁より(社)日本旅行業協会、(社)全国旅行業協会に対し、新燃岳噴火に関し、
政府等から公表される最新の情報の収集に努め、旅行者または旅行予定者からの
問い合わせ等に際しては正確な情報提供を図るよう要請。(2/7)
- 九州運輸局が霧島連山(新燃岳)噴火活動に伴う土石流への警戒について自動車運送事業者等
へ通知。(2/9)

(3) 連絡調整

- 霧島火山防災連絡会コア会議を九州地方整備局宮崎河川国道事務所が開催(1/27)
- 宮崎県庁1名、高原町1名、都城市1名(計3名)のリエゾン派遣(3/7時点)
(1月23日からの累計 延べ144人・日)
- 霧島山(新燃岳)土砂災害対策現地連絡会を九州地方整備局宮崎河川国道事務所が設置
(2/1)し、計27回開催
- 政府支援チームの一員として、宮崎県に国土技術政策総合研究所職員を派遣(2/7～)

(4) 降灰対策

- 直轄区間の道路清掃に加え、都城市・日南市・高原町・小林市・三股町に対し道路の降灰
清掃用に国交省保有機材[(3/7時点)路面清掃車24台、歩道清掃車1台、散水車13台、
排水管清掃車7台]を貸出
- 各地整の保有する路面清掃車等を被災地へ派遣(北海道開発局計15台、東北地整計6台、
関東地整計6台、中部地整計2台、近畿地整計5台、中国地整計5台、四国地整計6台を
派遣済み)(1/31～)
- 路面清掃車等のオペレータ不足に対応するため、宮崎県内の建設業者を対象に緊急操作講習会
を開催[第1回:2/2 28社49名参加、第2回:2/15 21社28名参加]
- 噴石防護機能付き車両(防護付調査車)を高原町と宮崎河川国道事務所3台、霧島市と鹿児島
国道事務所1台共同調査に使用(1/31～)
- 宮崎空港の火山灰除去作業を実施[清掃車(スイーパー車)2台、吸引車(ブロー車)1台](1/28)

(5) 土砂災害対策

- 九州地整が土砂災害対応のため降灰範囲・降灰量の緊急調査及び土石流危険範囲の解析
を実施(1/27～)
- 九州地整が降灰調査の結果及び土石流の恐れのある溪流について、関係市町へ説明(2/2)
- 九州地整が降灰調査の結果及び土石流による被害の生じる恐れが高い区域の解析結果につい
て、県、関係市町へ説明(2/4)
- 2/10～11にかけての降雨について、九州地整が地上(第1回2/11、第2回2/15)及び災害対策ヘリ
コプター「はるかぜ号」(2/13)により、降雨後の溪流調査を実施。
- 2/16～17にかけての降雨について、九州地整が地上及び災害対策ヘリコプター「はるかぜ号」によ
り、降雨後の溪流調査を実施。(2/18)
- 2/27～28にかけての降雨について、九州地整が地上より、降雨後の溪流調査を実施。(2/28)
- 3/6～7にかけての降雨について、九州地整が地上より、降雨後の溪流調査を実施。(3/7)
- 宮崎県高原町において、土砂災害を防止するため既設砂防堰堤3基における緊急的除石工事を
実施(2/1～)
- 都城市内の5箇所(7溪流)において、除石や仮設導流堤等の緊急的な土石流対策工事を
実施(2/11～)
- 既設の土石流センサー6箇所に加え、2月10日に3箇所設置
- 既設の溪流監視用カメラ10台に加え、2月9日、10日に3台設置
- 既設の新燃岳監視用カメラ5台(内赤外線2台)に加え、2月1日に1台(KU-SAT)設置
- 土石流センサーによる土石流発生情報、溪流・新燃岳監視用カメラ映像を2月2日
(KU-SATのみ2/1)から関係自治体へ提供開始
- 土石流災害に対する避難のための参考となる雨量基準を4mm/hから10mm/hに見直し(3/1)

(6)事務所の応援体制

○九州地方整備局河川部4名、筑後川河川事務所2名、遠賀川河川工事事務所1名、福岡国道事務所1名、筑後川ダム統合管理事務所1名、佐伯河川国道事務所2名、大分川ダム工事事務所1名、大隅河川国道事務所1名(計13名)を宮崎河川国道事務所に応援派遣(3/7時点) (1月27日からの累計 延べ612人・日)

(7)災害対策ヘリコプター出動状況 (平成23年3月7日 11:00現在)

出動日	出動場所(活動内容)	機材名
1月21日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	きんき号
1月27日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	きんき号
2月2日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号
2月9日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号
2月13日	新燃岳周辺(2/10~11降雨後の溪流調査)	はるかぜ号
2月16日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号
2月18日	新燃岳周辺(2/16~17降雨後の溪流調査)	はるかぜ号
2月23日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号
2月25日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号
3月2日	新燃岳周辺(噴火・降灰状況調査)	はるかぜ号

(8)維持用機械等 出動状況 (平成23年3月7日 11:00現在)

期間	出動先	出動理由	機械名	整備局名	状況	台数
3月7日 73台	都城市内	都城市:路面清掃作業	路面清掃車	北海道開発局	稼働	1
				東北地整		2
				関東地整		4
				中部地整		1
				近畿地整		1
				中国地整		1
				四国地整		1
			九州地整	3		
			散水車	東北地整		2
				関東地整		1
	近畿地整	1				
	排水管清掃車	九州地整	5			
		四国地整	1			
	九州地整	九州地整	2			
		中国地整	1			
	日南市内	日南市:路面清掃作業	路面清掃車	九州地整	稼働	1
			散水車	中国地整		1
			排水管清掃車			1
	高原町内	高原町:路面清掃作業	路面清掃車	九州地整	稼働	4
			散水車	関東地整		1
散水車			四国地整	1		
排水管清掃車		九州地整	2			
歩道清掃車			1			
宮崎河川国道と共同調査	防護付調査車	3				
小林市内	小林市:路面清掃作業	路面清掃車	東北地整	稼働	1	
			近畿地整		1	
			九州地整		1	
		散水車	中部地整		1	
排水管清掃車	四国地整	1				
三股町内	三股町:路面清掃作業	路面清掃車	四国地整	稼働	1	
			九州地整		1	
霧島市内	鹿児島国道と共同調査	防護付調査車	九州地整	稼働	1	
都城国道維持出張所 (国道10号)	直轄国道:路面清掃作業	路面清掃車	九州地整	稼働	1	
		散水車			1	
		歩道清掃車			1	

	日南国道維持出張所 (国道220号)	直轄国道:路面清掃作業	路面清掃車	九州地整	稼働	1
	宮崎河川国道事務所 (瓜生野川排水機場)	路面清掃作業	路面清掃車	近畿地整	待機	1
			散水車	北海道開発局		14
				東北地整		1
				近畿地整		1
			排水管清掃車	中国地整		2

・1/27~3/7の稼働台数等

機械名	稼働台数 (現時点)	稼働台数 (延べ台日)	各市町での 稼働台数 (現時点)	各市町での 稼働台数 (延べ台日)
路面清掃車	26	687	24	546
歩道清掃車	2	52	1	13
散水車	14	457	13	398
排水管清掃車	7	193	7	171
防護付調査車	4	126	4	122
合計	53	1,515	49	1,250

・各地整からの出動台数

機械名	北海道 開発局	東北 地整	関東 地整	中部 地整	近畿 地整	中国 地整	四国 地整	九州 地整	計
路面清掃車	1	3	4	1	3	1	2	12	27
歩道清掃車	0	0	0	0	0	0	0	2	2
散水車	14	3	2	1	2	1	2	6	31
排水管清掃車	0	0	0	0	0	3	2	4	9
防護付調査車	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	15	6	6	2	5	5	6	28	73

(9)災害対策用通信機材出動状況 (平成23年3月5日 11:00現在)

期間	整備局名	出動理由	状況	出動先	機材名	台数
3月5日	九州地整	新燃岳:映像監視用	稼働	霧島市牧園町	Ku-SAT	1

・2/1~3/5の延べ台数等

機材名	出動台数 (延べ台数)	出動台数 (延べ台日)	各市町への 貸出台数 (延べ台数)
Ku-SAT 衛星小型画像 伝送装置	1	35	—
合計	1	35	—

5. 国土地理院の対応

- 霧島山(新燃岳)及び周辺地域の地形図を電子データにて関係機関に提供(1/28)
- 霧島山(新燃岳)周辺に設置している電子基準点(3点)の観測データを解析・公開(1/28)
- 国土地理院が地殻変動のGPS観測点増設、航空機による監視・観測を実施(1/31~)
- 航空機(くにかぜⅢ)で撮影した新燃岳火口付近の斜め写真を関係機関に提供(2/1)
- GPSリモート火山観測装置(REGMOS)の設置完了。観測開始(2/2)
- 航空機(くにかぜⅢ)による合成開口レーダー(SAR)の観測画像初期解析結果を公表(2/2)
- 電子基準点およびREGMOS(GPS火山変動リモート観測装置)の観測データを解析・公開(2/3)
- 航空機(くにかぜⅢ)による合成開口レーダー(SAR)による観測(2回目)を実施(2/7)
- 航空機で撮影した新燃岳火口付近の斜め写真を関係機関に提供(2/7)
- デジタル標高地形図(霧島山)を関係機関に提供(2/9~)
- 人工衛星(だいち)データを用いて霧島山(新燃岳)の地殻変動を面的に把握し、結果を公表(2/22)

6. 気象庁の対応

- 噴火警報等の火山に関する情報を適時的確に発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- 気象庁機動調査班(宮崎・鹿児島地方気象台および福岡管区気象台)を派遣し、降灰の状況等について現地調査を実施(1/27～)。
- 鹿児島県霧島市内に遠望カメラを設置するなど、観測体制を強化。
- 火山噴火予知連絡会に総合観測班を設置し、現地事務局を霧島市に開設し、職員を派遣。また、活動の評価を行うために拡大幹事会を2月3日に開催し、見解を発表。2月15日に火山噴火予知連絡会を開催し、見解を発表。次回の火山噴火予知連絡会は、3月22日に開催予定。
- 政府支援チームの一員として、宮崎県に職員を派遣(2月7日～)
- 総合観測班での調整に基づき、地震計、傾斜計、空振計、高感度カメラ、赤外線カメラ、降灰計といった観測機器を新たに設置し、観測体制を強化(3月上旬から順次観測を開始する予定)。
- 泥流や土石流の発生に備え、3か所(宮崎県高原町・都城市、鹿児島県霧島市)に臨時雨量観測所を設置し、雨量観測体制を強化。

7. 政府の対応

- 「霧島山(新燃岳)の噴火に関する関係省庁連絡会議」を開催(内閣府防災)(1/28)
- 防災担当大臣宮崎県及び鹿児島県入り、噴火被害状況を視察(1/29、1/30)
- 総理官邸内危機管理センターに、「霧島山(新燃岳)の噴火に関する情報連絡室」を設置(1/31)
- 大雪等及び新燃岳噴火に関する関係閣僚会議開催(2/1)
- 大雪等及び新燃岳噴火に関する関係省庁連絡会議開催(2/1、2/8)
- 霧島山(新燃岳)噴火に関する関係閣僚会議開催(2/4)
- 内閣府参事官を団長とする政府支援チーム(内閣府防災、消防庁、農林水産省、国土交通省、気象庁)を現地に派遣(2/7～)
- 防災担当大臣鹿児島県及び宮崎県入り、噴火被害状況を視察(2/11、2/12)
- 防災担当副大臣鹿児島県及び宮崎県入り、噴火被害状況を視察(3/6、3/7)
- 霧島山(新燃岳)噴火に関する政府支援チームが、コアメンバー会議を開催(2/22、2/24、3/13/3)

8. 人的被害(消防庁情報 3月4日 18:30現在)

- ① 人的被害 重傷13名、軽傷21名
- ② 家屋被害 なし

9. 所管施設等の状況

- 土砂災害警戒情報の発表状況(3月7日11:00時点)
発表なし

- 宮崎県における避難勧告等の状況(3月7日11:00時点)

都道府県	市町村	地区	避難の状況				発令日時	解除日時	備考
			類型 (避難準備 情報避難勧告 避難指示)	対象 世帯数	対象人数	避難者数 (最大)			
宮崎県	高原町	ミナサン 南狭野区	避難勧告	23	61	0 (73)	1月30日 23:50	2月15日 19:30	2月5日 17:00一 部解除
宮崎県	高原町	キタサン 北狭野区	避難勧告	3	8		1月30日 23:50	2月15日 19:30	2月5日 17:00一 部解除
宮崎県	高原町	ハナドウ 花堂区	避難勧告	1	4		1月30日 23:50	2月15日 19:30	2月5日 17:00一 部解除
宮崎県	高原町	ナカベラ 中平区の一部	避難勧告	6	24	不明	1月31日 0:25	2月5日 17:00	
宮崎県	高原町	ハライカフ 祓川区	自主避難	1	1	0 (1)	1月29日 17:30	日時不明 帰宅済み	
宮崎県	都城市	山田町の 一部	避難準備情報	458	1139	0 (9)	2月10日 19:00	2月11日 0:00	

宮崎県	都城市	西岳町の 一部	避難準備情報	1191	2405	0 (70)	2月10日 19:00	2月11日 0:00	
宮崎県	都城市	ヨシノ、モトチヨウ 吉之元町	避難準備情報	690	1,384	0 (11)	2月13日 17:25	2月14日 8:04	
宮崎県	都城市	ミイケ、チヨウ 御池町	避難準備情報			0 (0)	2月13日 17:25	2月14日 8:04	
宮崎県	都城市	ナツオチヨウ 夏尾町	避難準備情報			0 (5)	2月13日 17:25	2月14日 8:04	
宮崎県	都城市	ヤマダチヨウ 山田町の一部	避難準備情報 自主避難			0 (2)	2月13日 17:25	2月14日 8:04	
宮崎県	都城市	タカノ、チヨウ 高野町の一部	避難準備情報			458	1,139	0 (4)	2月13日 17:25
宮崎県	都城市	夏尾町	避難準備情報	690	1384	0 (128)	2月16日 22:05	2月17日 21:00	2月17日 11:00 避難勧告移行
宮崎県	都城市	御池町	避難準備情報				2月16日 22:05	2月17日 21:00	2月17日 11:00 避難勧告移行
宮崎県	都城市	吉之元町	避難準備情報				2月16日 22:05	2月17日 21:00	2月17日 11:00 避難勧告移行
宮崎県	都城市	高野町の 一部	避難準備情報				2月16日 22:05	2月17日 21:00	2月17日 11:00 避難勧告移行
宮崎県	都城市	山田町の 一部	避難準備情報	458	1139	0 (17)	2月16日 22:05	2月17日 21:00	2月17日 11:00 避難勧告移行
宮崎県	高原町	花堂区の 一部	避難準備情報	11	23	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	蒲牟田区の 一部	避難準備情報	17	45	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	北狭野区の 一部	避難準備情報	3	6	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	南狭野区の 一部	避難準備情報	1	3	0 (3)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	祓川区の 一部	避難準備情報	56	117	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	湯ノ元区の 一部	避難準備情報	9	17	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	
宮崎県	高原町	小塚区の 一部	避難準備情報	2	3	0 (0)	2月17日 10:30	2月17日 21:00	

○鹿児島県における避難勧告等の状況(3月7日11:00時点)

都道府県	市町村	地区	避難の状況			発令日時	解除日時	備考	
			類型 (避難準備 情報 避難勧告 避難指示)	対象 世帯数	対象人数				避難者数 (最大)
鹿児島県	霧島市	霧島地区 (霧島神宮台)	自主避難	6 ※ペンション、別荘	10	0 (10)	2月1日 8:00	2月1日 10:30 帰宅済み	避難場所 霧島保健 福祉セン ター
		霧島地区 (霧島神宮台)	自主避難	3 ※別荘	0	0 (4)	2月1日 17:58	日時不明 帰宅済み	避難場所 霧島市総 合支所

○道路関係(3月7日11:00時点)

- ・高速道路:現在、通行止め区間無し
- ・直轄国道:現在、通行止め区間無し
- ・県管理国道:現在、1区間で降灰により通行止め

路線名	区間名	被災状況	備考
国道223号	宮崎県都城市吉之元町 ～都城市夏尾町	降灰	1/26 17時00分～ 全面通行止め

- ・県道:現在、6区間で通行止め

路線名	区間名	被災状況	備考
(主) 御池都城線	宮崎県都城市夏尾町 ～都城市山田町	降灰	1/26 18時00分～ 全面通行止め
(一) 牛之脛山田線	宮崎県都城市夏尾町 ～都城市山田町	降灰	1/26 18時00分～ 全面通行止め
(一) 高千穂峰狭野線	宮崎県高原町大字蒲牟田	降灰	1/27 9時00分～ 全面通行止め
(一) 霧島公園小林線	鹿児島県霧島市田口	降灰	1/26 18時10分～ 全面通行止め
(一) 霧島公園線	鹿児島県霧島市田口	降灰	1/26 18時10分～ 全面通行止め
(主) 小林えびの 高原牧園線	鹿児島県霧島市牧園町 高千穂～宮崎県境	噴石による	2/ 1 8時45分～ 全面通行止め

○鉄道関係(3月7日11:00時点)

被害情報、運転休止情報なし。

○自動車関係(3月7日11:00時点)

噴石により、タクシー車両の窓ガラスが破損。(2事業者2両)

○航空関係(3月7日11:00時点)

- ・空港施設等被害無し
- ・宮崎空港欠航便情報(噴火以外の機材繰り等による欠航含む)
3/7 欠航1便(出発1便)

○海事関係(3月7日11:00時点)

- 1)施設等の被害状況
被害情報なし
- 2)運休状況
運休情報なし

○下水道施設の被害状況(3月7日11:00現在)

現在のところ被害情報なし。

○公園施設の被害状況(3月7日11:00現在)

現在のところ被害情報なし。

○宅地の被害状況(3月7日11:00現在)

現在のところ被害情報なし。

○港湾関係(3月7日11:00時点)

- ・港湾施設被害情報なし

○物流関係(3月7日11:00時点)
営業倉庫に関する被害情報なし。

○官庁施設等(3月7日11:00時点)
現在のところ被害情報なし。

○観光関係(3月7日11:00時点)
登録ホテル・旅館について、特段の被害報告なし。

(参考情報:2月16日現在)

宮崎県

・旅館・ホテルのキャンセル状況 3,432件

鹿児島県

・旅館・ホテルのキャンセル状況 約2万件

○地方公共団体管理 公共土木施設の被害報告 (2月24日15:00現在)

宮崎県:道路1路線

問合先:河川局防災課災害対策室 伊藤 代 表:03-5253-8111 内線35-822 直 通:03-5253-8461
